

第3学年 国語科学習指導案

日 時：令和7年12月9日（火）

学 級：3年2組 20名

指導者：尾久第六小学校 3年担任

自分の考えをもち、主体的・対話的に学びを深める児童の育成
～国語科「読むこと(文学的文章)」を通して～

1. 単元名 登場人物の行動や気持ちをとらえて、えらんだ民話をしようかいしよう

教材名 「三年とうげ」 リ クムオギ 李 錦玉 作

2. 単元の目標

知識及び技能	・引用のしかたを理解し使うことができる。(知(2)イ) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。(知(3)オ)
思考力、判断力、表現力等	・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(思 C(1)イ) ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思 C(1)オ)
学びに向かう力、人間性等	・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちの変化について、叙述を基に想像して読み、おもしろいと思ったところを伝え合うことができる。 ・「読むこと」において、話し合いを通して、友達に共感したり自分の考えを広げたりすることができる。

3. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①引用のしかたを理解し使っている。 ②幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	①登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ②文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	① 登場人物の行動や気持ちの変化について、叙述を基に想像して読み、おもしろいと思ったところを伝え合い、話し合いを通して、友達に共感したり自分の考えを広げたりしている。

4. 研究主題に迫るための手立て

(1) 確かな知識・技能の習得

・読書活動

今まで馴染みのない、世界の民話や昔話に児童が興味をもち、楽しみながら読めるように、時間に余裕をもって並行読書に取り組む。教科書に紹介されている世界の民話や昔話の本を中心に精選し、気軽に手に取って読める環境を整える。並行読書を通して読んだ本については、誰がどの本を読んだのかや、「おすすめ度」が分かるように教室内に掲示し、おすすめの本については、友達も読んでみたくなるようなキヤッチフレーズを一言メモに書いて、本の表紙の写真に添えて掲示していく。掲示物を通して児童同士が自然に民話や昔話の本について感想を伝え合ったり、新しい本を手に取るきっかけとなったりするように工夫する。

単元の最後には、読んできた本についてその面白さを伝えたり、友達が勧めている本を読んでみたりすることによって、みんなで民話や昔話の面白さについて共有したい。

(2) 単元構成の工夫

・単元全体の目標の明確化

単元の導入までに、第0時として民話の読み聞かせを行い、世界の民話や昔話の読書活動に取り組むことに意欲をもたせ、「自分のお気に入りの民話を選んで、そのおもしろさを友達に紹介する」という目標を共有する。また第1時でオンラインふせんアプリ「ふきだし君」を活用して、おもしろいと思ったところを一言で伝え合う活動を行う。人によっておもしろいと思ったところが違うことに気付き、「おもしろいと思ったところを文章に書いて伝え合う」、そして「三年とうげ」の学習をいかして自分が選んだ民話のおもしろさをまとめる」という単元全体の目標を共有する。そうすることによって、目的と見通しをもって主体的に学習に取り組めるようにする。

・ワークシートの工夫

第4時で「三年とうげ」のおもしろさを伝え合った後、引用を用いておもしろさを紹介する文章を書くという活動を設定し、第5時では自分が選んだ民話について引用を用いておもしろさを紹介する文章を書く。「3年とうげ」で用いたワークシートと同じ形式のワークシートを、自分が選んだ民話を紹介する活動でも用いることにより、「引用」を用いた紹介文の書き方に習熟させ、どの児童も安心して自信をもって書けるようにする。

(3) 学びを深めるための工夫

・学習形態の工夫

1学期は、自分の考えを文章に書いてからの交流が多かったが、それだと友達の考えを取り入れたり、自分の考えをさらに深めたりといった変容はあまり期待できない。そこで、自分の考えを文章に書く前の早い段階から交流し、また交流を繰り返すことにより、考えをさらに深め、思いをめぐらせることができるようにしたい。また、「似た考え方の友達」や「違う考え方の友達」など、自由に相手を選んで交流することで、一人一人にとってより意義ある主体的・対話的な学びとなるようにしていきたい。

5. 単元の指導と評価の計画

時	◆目標・学習内容	評価		
		知 技	思 判 表	態 度
0	<p>◆世界各地に様々な民話や昔話があることを知り、民話や昔話を読むことに関心をもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに読んだり聞いたりした民話や昔話について伝え合う。 様々な国や地域の民話を紹介するブックトークと、「うさぎのさいばん」(韓国)、「おどりトラ」(韓国・朝鮮)、「ドコ」(ネパール)、「小さなおうち」(ロシア)の読み聞かせを聞き、世界の民話や昔話を「読んでみたい」と関心をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 世界の民話や昔話の本を並行読書して、読んだ本の記録を教室内に掲示する。 </div>			
1	<p>◆「三年とうげ」を読み、おもしろいと思ったところを伝え合い、様々なおもしろさがあることに気づくことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「三年とうげ」を読み、「ふきだし君」でおもしろいと思ったことを一言で伝え合う。 ※おもしろさを見付ける観点ごとに色分けする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 出来事→青色 登場人物の行動・気持ち・考え方→ピンク色 言葉の使われ方・文の調子→黄色 </div> <ul style="list-style-type: none"> 「面白いと思ったところを文章に書いて伝え合う」、そして「三年とうげ」の学習をいかして自分が選んだ民話のおもしろさをまとめる」という単元全体の目標を共有する。 		①	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> ① ◎登場人物の行動や気持ちの変化について、叙述を基に想像して読み、おもしろいと思ったところを伝え合っている。 <発言・記述> </div>
2	<p>◆登場人物の行動や気持ちなどを、叙述を基に捉えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「三年とうげ」を音読する。 内容や書かれ方について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ○三年とうげはどんなところか。 ○どんな人物が出てくるか。 ○どんな出来事が起こり、その後、どうなったか。 ○出来事が起こったときや、その後の登場人物の行動や気持ち、考え方はどうだったか。 あらすじをたしかめる。 		①	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> ◎「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 <発言・記述> </div>



3	◆行動や様子を表す言葉に着目して、登場人物の気持ちの変化を捉えることができる。	①		◎「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ＜発言・記述＞
	・「おじいさん」の気持ちがよく分かる表現に着目して読む。 ・「おじいさん」の心情の変化とそのきっかけについて考える。			
4 本時	◆「三年とうげ」のおもしろいところについて、叙述に基づいて考えをもち、交流することにより考えを深めることができる。	②	①	◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。＜記述＞ ◎登場人物の行動や気持ちの変化について、叙述を基に想像して読み、おもしろいと思ったところを伝え合い、話し合いを通して、友達に共感したり自分の考えを広げたりしている。 ＜発言・記述＞
	・おもしろいと思ったところについて、引用して紹介したい部分に線を引く。 ・線をひいた部分について、紹介したい理由や感じたことをノートに書く。 ・第1時の「ふきだし君」を見ながら話し合う相手を選んで、考えを交流する。 ・考えが変わったり、深まったりしたことをノートに書き加える。 ・考えを発表する。 ・おもしろいと思ったところについて、引用を用いて紹介する文章を書く。			
5	◆選んだ民話や昔話について、引用を用いておもしろさを紹介する文章を書くことができる。	①	②	◎引用のしかたを理解し使っている。 ＜記述＞ ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。＜記述＞
	・「三年とうげ」の学習を基に、おもしろさを見つけるときの観点を再度確認する。 ・選んだ本について、引用を用いておもしろさを紹介する文章を書く。			
6	◆書いた文章を推敲し、清書することができる。	①	②	◎引用のしかたを理解し使っている。 ＜記述＞ ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。＜記述＞
	・書いた文章を読み合い、推敲する。 ・丁寧に清書をする。			
7	◆選んだ民話や昔話を紹介する文章を読み合い、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。	②	①	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得るために役立つことに気付いている。 ◎登場人物の行動や気持ちの変化について、叙述を基に想像して読み、おもしろいと思ったところを伝え合い、話し合いを通して、友達に共感したり自分の考えを広げたりしている。 ＜発言・記述＞
	・前時に書いた紹介文を読み合う。 ・紹介し合って気付いたことを伝え合い、活動を通して感じたことをまとめれる。			

8. 本時の学習 (4/7)

(1) ねらい

「三年とうげ」のおもしろいところについて、叙述に基づいて考えをもち、交流することにより考えを深めることができる。

時間	○主な学習活動	※指導上の留意点 ★評価 () 評価方法
2分	<ul style="list-style-type: none"> ○初発の感想で、おもしろいと思ったところが人によってさまざまであったことを想起する。 ○おもしろいと思ったこととその理由を、着目した部分を引用しながら伝え合うという目標を共有する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「三年とうげ」のおもしろいところをしようかいしよう。</div>	※第1時で「ふきだし君」に書いた初発の感想を見る。
3分	<ul style="list-style-type: none"> ○おもしろいと思ったところについて、引用して紹介したい部分を選び、教科書に線を引く。 	★文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 (記述)
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○線をひいた部分について、紹介したい理由や感じたことをノートに書く。 	※「ふきだし君」を見ながら、おもしろいと思ったことが同じ人、違う人など、目的を明確にしながら交流相手を選ぶように声を掛ける。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○「ふきだし君」を見ながら話し合う相手を選んで、考えを交流する。 ○考えが変わったり、深まったりしたことをノートに青鉛筆で書き加える。 	※途中で、ノートに書き加えている児童を紹介し、交流しながらノートに書き加えたり変更したりしながら考えを深めることを促す。
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートに書き出したことを基に、考えを発表する。 	※「〇〇さんの考えを聞いて、考えが変わりました。」など、交流の成果も発表させる。 ★登場人物の行動や気持ちの変化について、叙述を基に想像して読み、おもしろいと思ったところを伝え合い、話し合いを通して、友達に共感したり自分の考えを広げたりしている。 (発言・記述)
5分 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○引用を用いて紹介する文章の書き方を知る。 ○ワークシートに、「三年とうげ」のおもしろいところについて、引用を用いて紹介する文章を書く。 	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習を振り返る。 ○次時では選んだ民話について紹介する文章を書き、「世界の民話ガイド BOOK」を作ることを知る。 	※意図的指名をして、考えを共有し、交流することで考えが深まることにも気付かせる。

